



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第322号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113
発行者／山口 浩司 編集責任者／藺田 明広 発行日／平成29年1月1日 印刷所／小林クリエイト(株)

1月号内容

◆ 年頭のあいさつ (静臨技理事)	…… 1～5
◆ 静岡県精度管理調査成績検討会終了報告	…… 6
◆ 「減塩・低カロリープロジェクト2016」終了報告	…… 7～10
◆ 検体採取等に関する講習会受講状況	…… 10
◆ 会員投稿	…… 11
◆ 研修会終了報告	…… 12～13
◆ 研修会案内	…… 14～20
◆ 行事予定	…… 20



年頭にあたって

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
会長 山口 浩司

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、よき年明けをお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、(一社)静臨技は2018年5月にアクトシティ浜松で開催します「第67回日本医学検査学会」の担当県として、いよいよ本格的な準備に着手する新たな年を迎えました。この一年が学会成否の鍵を握りますので、会員皆様のご意見をいただきながら着実に進めていきたいと考えています。

当会は昨年6月より新理事体制として活動し、県内3支部を軸とした公益事業や組織強化活動と伴に、日臨技に歩調を合わせた事業を主に展開しています。公益事業では広く一般の方に臨床検査技師の仕事を知っていただき、また次代を担う人材に職業選択いただくことを目的として、11月11日の臨床検査技師の日因んで「検査と健康展」を開催し、その他に「伊豆市健康福祉まつり」「減塩・低カロリープロジェクト」を共催しました。



また、今後は「検査説明・相談の出来る臨床検査技師」の育成と共に、平成 27 年 4 月施行の改正臨床検査技師法による「新たな検体採取」を臨床の現場で積極的に実践していただきたく、推進してまいります。これらの施策は厚労省と各医療団体が話われてきたチーム医療の推進が背景にあります。最近では異なった専門職や組織が共有した目標に向けて共に働くという意味で『多職種連携』という言葉が使われますが、そういった取組みの先に「病棟業務」や「在宅医療」があり、その実践は 2025 年の超高齢化社会や労働者不足となる今後の日本の医療において必要不可欠なものです。

一方で、臨床検査技師が行える業務範囲には検体採取や検査測定以外に、患者さんに対して「検査の目的や手順」、「基準値の考え方」、「結果の見方」や「検査項目の意味・解釈」、「個々の検査結果に対する所見」を説明することが医師の指示の下に行なうことができるとされています。ISO15189 にも同義の序文が記載されており、検査の入口と出口に臨床検査技師が責任を持って関ることは、検査データの品質の要求への対応とともに検査説明も世界基準の流れとして必要と考えます。

その他に、検査データに関しましては日臨技の精度保証施設の認証取得や国際基準の取得の推進などにより、品質保証や精度保証に取り組むことが必要と考えます。また、検査データを国民の健康情報として一元的な活用ができるよう「標準化」や「共用基準範囲」の導入を推進していく必要があると考えています。

それらをご理解いただきまして、会員や賛助会員の皆様、また臨床検査業界団体の皆様と共に取り組んでいきたいと思っていますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様と（一社）静臨技にとって実り多き年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事よりご挨拶

副会長（組織部長） 杉澤 きよ美（沼津市立病院）

2 期目で組織部を統括する重責を抱えて早半年。会員の皆様には会員名簿作成、褒章推薦者・表彰対象者の調査など、ご協力をいただき感謝いたします。昨年は HP 更新に伴う求人掲載画面の変更もありました。まだまだ行き届かない点もあり恐縮ですが、今年もまず 2 月にはスタートアップ研修会を企画しておりますので、新人の方々には多数ご参加いただけますようお願いいたします。

どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

副会長（広報・渉外部長） 藪田 明広（静岡県立総合病院）

渉外・広報部を担当させていただいて半年になりますが、毎回、会報作成に悪戦苦闘しております。ソフトを使いこなせず歯痒いばかりですが、より良い情報発信のため自分色（創意工夫したもの）を出せるようにと頑張ってるところです。次年度は全国学会が浜松の地にやって来ます。学会事務局をお預かりすることになりましたので、素晴らしい学会になるよう全力を尽くしていきたいと思っております。

ご協力のほど、宜しくお願い致します。

副会長（学術部長） 清水 憲雄（磐田市立総合病院）

学術部を担当させていただき半年が過ぎましたが、各部門研修会、精度管理事業、データ標準化事業におきましては、多くの会員の皆様にご参加いただきありがとうございました。また、企画運営にご尽力いただいた部門長をはじめ実務委員の皆様方には深く感謝申し上げます。

今年は役員改選から2年目となります。諸先輩方の築き上げてきた伝統を継承しつつ、新しい風も取り込むことでより一層魅力ある研修会が開催出来たらと考えています。本年もご理解、ご協力の程よろしく願います。

常務理事 都築 農夫志（静岡医療センター）

常務理事（東部支部長）・広報部 HP 担当の任を拝命し、あっという間に半年が経ってしまいました。この間、伊豆社会福祉大会への参加や静臨技 HP のリニューアルなどがあり、自身の力不足を痛感しつつ、諸兄諸姉の皆様にご指導・ご尽力いただきながら何とか実行できました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。会員の皆様にとって、2017 年がさらなる躍進の年となりますよう祈念いたします。

常務理事 中島 和浩（市立島田市民病院）

昨年6月に自身初となる技師会理事を拝命し、現在は常務理事として学術部ならびに中部支部長を担当しております。11月にはアピタ静岡での「検査と健康展」会場責任者を担い、理事や動員実務委員の方々のご協力を得て成功裏に終えることができました。この経験を通して技師会活動の企画側役割を理解できましたので、就任当初に抱いた理事活動に対する不安はなくなりました。

理事2年目の今年は、より広い視野で考え行動し、ミスの無いよう努めて参ります。皆様方の技師会活動へのご参加ならびにご協力、引き続きよろしくお願い致します。

常務理事 直田 健太郎（聖隷浜松病院）

初めての静臨技理事、ましてや常務理事という大役を仰せつかって早1年が立とうとしています。そんな中、2017年度6月に開催される第7回 静岡県医学検査学会では実行委員長を仰せつかりました。本会のテーマは「道をつくる！～open up a future～」です。臨床検査技師の未来を切り開くためにも有意義な学会にしたいと思っておりますので、会員の皆様方におかれましても、是非積極的なご参加を賜ります様よろしくお願い致します。

理事 羽切 政仁（聖隷沼津病院）

昨年より、技師会の末席に席をおかせていただきましたが、右も左もわからず、多くの先輩がたに助けられ、なんとか？技師会活動に参加させていただきました。今年は、来年静岡県で開催される第67回日本医学検査学会の準備の年です。開催に向け、微力ながら精一杯がんばりたいと思っております。会員の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

理事 勝又 隆子（富士宮市立病院）

昨年、理事を拝命してから早いもので、半年が過ぎようとしています。

まだまだ会務には不慣れで、未だ指示されたとおりに動いている状況です。それに比べて、多忙な毎日にもかかわらず、本業と会務を両立している諸先輩方の姿には、ただただ尊敬するばかりです。

今年は、諸先輩方を見習い少しでも成長できるようにがんばりたいと思います。

理事 須田 達也（裾野赤十字病院）

昨年より静臨技の理事を拝命し、諸先輩方のお助けを頂きながらの新年となりました。不安でスタートした理事活動ですが、「伊豆市福祉大会」「検査と健康展」などのイベントに参加した際には普段の業務では感じ得ない充実感や達成感がありました。会員の皆様にも技師会活動を通じて何かを感じて頂ける様に努めたいと思います。 本年も宜しくお願い致します。2017年が皆様にとって良い年になりますように！

理事 川口 貴子（静岡赤十字病院）

暖冬だった昨年度とは違い、今年度は毎日富士山がとても綺麗に見えるほどの寒冬となっています。インフルエンザも前年より早く始まっています。皆様は大丈夫でしょうか？理事として技師会に携わるのも2期目となりました。初めてのことばかりだった前期に比べ少しは慣れてきた？気がします。今年は大きな行事である2018年の当県担当で開催される全国学会に向けての準備という大事な業務があります。中部圏学会での経験を生かして頑張っていけたらと思います。今年も皆様のご協力をお願いいたします。

理事 遠藤 三佳（静岡市立静岡病院）

新年あけましておめでとうございます。

技師会活動に携わる中で、多くの方々のお力添えを頂き、昨年一年間を無事終えることが出来ました。本当にありがとうございました。今年もパワフルな静臨技を目指して、頑張りたいと思います。

本年も宜しくお願い致します。

理事 松本 誠司（静岡市立清水病院）

新年あけましておめでとうございます。

2016年は理事として初めての事ばかりで、皆様にはたいへんご迷惑をかけました。今年は昨年以上に気を引き締めて技師会活動に勤めたいと思っております。

何卒よろしく申し上げます。

理事 山田 哲司（聖隷三方原病院） <日臨技理事 兼任>

静臨技理事に就任以来、早2期目となりました。1期目は西部支部長および渉外担当常務理事として技師会活動に携わり、昨年、大盛況のうちに終了した中部圏支部医学検査学会では微力ながら実行委員として携わることができました。今期からは日臨技理事のご指名もいただきましたので技師会の動向を皆様に分かりやすくお伝えできればと思っております。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

理事 鈴木 真紀子（静岡医療科学専門学校）

昨年理事を拝命し、学術担当として務めさせていただきました。ご迷惑をおかけすることも多く、思うように活動できなかった反省ばかりの半年間でした。新たな年を迎え、諸先輩方のご指導を賜りながら、少しずつ前に進み、会員の皆様のお役に立てる活動が出来るよう尽力して参ります。昨年「検査と健康展」や「減塩・低カロリープロジェクト」などのイベントに参加する機会があり、「検査説明」の重要性を改めて感じております。また、説明をすることの面白さも実感しました。一昨年前になりますが、「検査説明・相談が出来る検査技師」の講習会で学んだことがとても役立ちました。講習会の参加は、非常に有意義でしたので、是非まだ受講していない皆様は、参加していただければと思います。

本年度も、どうぞよろしくお願い致します。

理事 佐原 卓夫（浜松医療センター）

新年あけましておめでとうございます。理事に就任して半年がたちました。まだまだ不慣れなため戸惑ってばかりですが、本年もよろしくお願い致します。

事務局長 伊藤 喜章（JA 厚生連 遠州病院）

今年も事務局長として、技師会運営に頑張らせていただきます。

且つ、2018年5月の全国学会（浜松開催）に向けて準備を始めますので、皆様のご指導、ご協力もよろしくお願い致します。

会計部長 市川 千津子（静岡済生会総合病院）

6月から会計を担当させていただいております。理事の皆様、学術の皆様に助けていただきながら半年が経過いたしました。会員の皆様からの会費を資金に静岡技は会員向け・一般の方向けに様々な研修会・行事等を行っておりますが、多くの会員・一般の方に参加していただきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い致します。

監事 三宅 和秀（JA 厚生連 清水厚生病院）

今年は、会長職を退き監事という立場で静岡技に協力できればと思っております。

「検査説明」に「検体採取」さらには「病棟検査技師」に「67回全国学会」と取り組む課題が非常に多くなっております。山口会長を中心に理事が一丸となって支えて参りますが、会員の皆様にもご協力をよろしくお願い致します。

監事 藤原 誠（伊豆赤十字病院）

昨年の総会にて、幹事を拝命してはや半年がたち、無事に新しい年を迎えることができました。監事という、今までと立ち位置の違う役どころを、内心ドキドキしながらスタートさせたのをつい最近のことのように覚えています。この違う立ち位置から眺めると、今まで見えなかったものが、ぼんやり見えるような気がしてくるから不思議です。ことしは、この違う視点を大事にして、技師会活動を盛り上げていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

第 33 回静岡県臨床検査精度管理調査成績検討会を終えて

静岡県精度管理調査委員会 統括（学術部長）

磐田市立総合病院 清水 憲雄

昨年 11/23（水・祝日）に開催された静岡県精度管理調査成績検討会におきましては、総勢 373 名（会員 303 名、賛助会員 50 名、非会員 20 名）の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。



静岡県の精度管理調査は、日本医師会の大規模精度管理調査を補完することを目的としており、特に地域サーベイの特色を生かして生試料を利用することでより実践的な調査を心がけています。



今年度は、精度管理委員会実務委員の改選の年にあたり、新しく委員になられた方々は、ご苦労も多かったと思いますが、解析作業においては今までの流れを引き継ぎつつ、新たな視点で評価を行っていただく事ができ、参加施設の精度管理向



助言者の前川教授

上への一助になったものと感謝申し上げます。

今年度調査の参加施設数は 116 施設であり、ほとんどの施設から成績検討会にはご参加いただきました。分科会にて交わされた討論内容は、しっかりと来年度調査へと繋げていきたいと考えています。また、ご参加いただいた皆様におかれましても、各部門の委員より報告のあった検討結果を各施設のスタッフに伝達いただき、静岡県全体の精度管理の向上に繋げていただくようお願い申し上げます。



今後とも、静岡県精度管理調査へのご参加、ご協力のほどよろしくお願い致します。



「減塩・低カロリープロジェクト 2016」無事終了！！

静臨技事務局長

JA 遠州病院 伊藤 喜章

平成 28 年 11 月 27 日（日）、深夜からの小雨が残る中、浜松市医師会主催イベントとして、「減塩・低カロリープロジェクト 2016」が今年も浜松市医師会館にて開催されました。このイベントも、浜松市主催の『見る』より『体験』『やまいか！健康はままつ 21』体感フェアとしてアクトシティで開催されたイベントの進化系で名前・場所・主催を変えて今回で 5 回目の開催となりました。



我が静岡県臨床衛生検査技師会も、理事役員及び西部技師会会員、静岡県医療科学専門大学の学生（ボランティア）の協力を得て、総勢 29 名で協力参加をしてきました。今回の開催は、精度管理報告会の数日後の為、休日を続けて潰して参加して下さった方も居たのではないかと少し心が痛かったです、（特に理事役員の方々には）無事に終了できたのも皆様のご協力の賜物と思っております。このイベントも、パンフレットやチラシに見て頂くとわかるように静岡県臨床衛生検査技師会が「共催」の名前で記載されており、西部開催の公益事業として非常に気合が入ったイベントになっています。

朝、9 時に技師会の担当である 2 階会場に集合し、白衣に着替え、会場設営、進行打ち合わせ、機器説明と段取りを進め、最後にピンクのビブスに腕をとおり、持ち場で来場者の来るのを待ちました。技師会の担当は恒例の 2 部門（尿の塩分測定、SMBG（血糖測定））です。10 時 15 分の会場と共に沢山の来場者が集まり、すぐに列を作りました。約 1 時間半で定数の 80 人を検査する開催なので少し心配をしていましたが、さすがに技師の集まりなのか、慣れてきたのか、大きな渋滞・クレームもなく来場者を最後のレクチャールームに誘導出来ていました。（学生さんの協力も大きかったです）11 時半過ぎには遠州病院の医師 2 名のレ

クチャーが始まったので、検査ブースを撤収し、技師会関係者は交代で食べ慣れていない減塩・低カロリー弁当に舌鼓を打ち、レクチャー終了後には会場を元の看護学校の教室の状態に戻し、今回のイベントを終了しました。

今回ご理解・ご協力して頂いた理事役員・会員（聖隷浜松病院・磐田市立総合病院・公立森町病院・遠州病院）、並びに三和化学様、ジョンソン&ジョンソン様、協和医科様にはこの場をかりて感謝いたします、ご協力大変ありがとうございました。

以下に、今回参加して頂いて方々の感想を載せていきたいと思っています。

参加者（技師）の声

浜松医療センター 佐原 卓夫（静臨技理事）

「今回初めて減塩・低カロリープロジェクトのお手伝いをさせていただきました。血糖測定を担当したのですが、参加された方々の関心の高さがうかがえ、有意義な企画であると感じました。

また、特製減塩・低カロリー弁当も大変おいしく食べさせていただき、ご馳走さまでした。」



特製減塩・低カロリー弁当

公立森町病院 榛葉 智之（技師長）

久しぶりのイベントでした。

減塩は恒例行事になりましたので若手にも積極的に声を掛けたいですね。

学生の機動力にも感謝です。

準備の関係から終了までの連絡等々頂いた事務局長様ありがとうございました。

このような行事が会員に浸透することを願います。

聖隷浜松病院 今枝 洋美

「減塩・低カロリープロジェクト 2016」体感フェアにおいて血糖検査（SMBG）の測定をお手伝いさせていただきました。来場された方々の中には血糖測定機はどこで購入できるかといった質問をされた方もおり、とても健康意識が高いと感じました。このプロジェクトを通じて浜松市民の方々の健康増進に少しでも役立てば良いなと思いました。

聖隷浜松病院 新村 奈津美

減塩セミナーに参加させて頂きました。参加者の方々の健康意識の高さに驚かされ、改めて、病気予防啓蒙活動の重要性を感じました。一緒に参加した学生さんとの交流も、昔を思い出し楽しかったです。



聖隷浜松病院 山田 茉樹

減塩・低カロリープロジェクト2016では、参加者の方に自己血糖測定機器を用いた血糖測定を体験してもらいました。参加者の皆さんは健康意識が高く、質問などもたくさん受け、とても貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。

磐田市立総合病院 山本 麻貴

今回初めてこのセミナーに参加しました。開始前は一体どんな質問がくるのか身構えていたのですが、実際は一度にドッと参加者が来られるため、血糖測定をしてもらうだけで精いっぱいでした。ほっとした反面、もう少し落ち着いて話が出来れば良かったかな、と思

いました。
また、普段交流のない他病院のスタッフや学生と話すことも出来、貴重な体験が出来ました。



磐田市立総合病院 川井 孝太

減塩セミナー2回目の参加です。

今回も、82人と大勢の方の血糖測定を行い、あっという間に時間が過ぎて驚きました。「パン食と米食どっちが良い？」など1回目にはなかった質問があり、驚きと患者さんは色々なことに興味があると驚きました。

次回も機会があれば参加したいと思いました。

静岡医療科学専門学校 鈴木 真紀子 (静臨技理事)

「減塩・低カロリープロジェクト2016」に、10名の学生と共に参加させて頂きました。まず驚いたのは来場者の人数です。生活習慣病は健康寿命の阻害因子となりますが、日常生活での運動や食生活などで、予防することができるものです。多くの方が自身の健康に対して、食生活に対して、関心が高いことがうかがえました。私は、来場者の方々の尿中塩分測定を担当させて頂きました。測定結果に一喜一憂する姿や、質問をして下さる来場者の方々と接して、熱心さにも驚かされました。私達、臨床検査技師は、予防医学にも深くかかわる仕事です。このような予防医学を推進するイベントに参加することは、非常に意義があると感じました。

また、自身の健康について考えることができ、医師から直接学ぶことが出来る機会は、とても貴重であると感じました。より多くの方々に、是非参加していただきたいイベントだと思います。

静岡医療科学専門学校 臨床検査学科1年 松並 夏美

今回「減塩・低カロリープロジェクト2016」に参加させて頂きました。私は尿中塩分測定を担当し、多くの来場者の方々と接することに初めは戸惑いましたが、来場者の方々にうまく伝わるよう自分なりに工夫をして、スムーズに説明することができました。臨床検査技師の方々にもご指導いただき、とても貴重な体験をさせて頂きました。また、是非参加したいです。

静岡医療科学専門学校 臨床検査学科 2年 明石 武仁

「減塩・低カロリープロジェクト 2016」に学生という立場にもかかわらず、臨床検査技師の方々の指導のもと、参加させて頂きましてありがとうございました。私は来場者の尿中塩分濃度測定を担当させて頂きました。とても貴重な体験でした。学校では体験できない来場者の方々とコミュニケーションを取ったうえでの測定や、来場者の方々への配慮、検体の取り違えをしない工夫など、今後臨床検査技師として仕事をすすめる上で、多くの必要なことを学ぶことが出来ました。今回の体験を、今後に生かしていきたいです。

静岡医療科学専門学校 臨床検査学科 2年 小林 亨

今回「減塩・低カロリープロジェクト 2016」に参加できて、本当に良かったです。私は血糖測定のサポートをさせて頂きました。臨床検査技師の方々の検査説明を目の前で見させていただくことが出来ました。最後に、私も実際に来場者への検査説明を担当させて頂きました。少し緊張しましたが、臨床検査技師の方々のサポートもあり、無事に終わることができました。分かりやすく、丁寧なご指導がとても印象に残りました。同時に自分自身に足りないものが沢山あることを痛感しました。普段学校の授業では学べない貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。是非また参加させて頂きたいと思います。



検体採取等に関する厚生労働省指定講習会 受講状況

(H28.12.8 現在)

修了者 (全国 117 会場) **30,764 名**

区分	2015年 修了者数	2016年												2016年 修了者数 (H28.12.8)	修了者 数合計	会員数 (H28.12.8)	比率 (%)	残り未受講 会員数
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
北日本	2,417	15	29	209	212	31	0	388	151	34	1	220	0	1,290	3,707	8,957	41.4%	5,250
関甲信	2,341	108	147	73	131	71	7	142	1	105	11	98	0	894	3,235	7,778	41.6%	4,543
首都圏	3,502	179	196	64	220	114	0	160	0	106	3	104	0	1,146	4,648	11,254	41.3%	6,606
中部圏	2,539	160	196	19	196	147	253	71	0	52	242	27	0	1,363	3,902	7,698	50.7%	3,796
近畿	2,030	233	241	4	389	8	14	308	2	203	22	166	2	1,592	3,622	8,175	44.3%	4,553
中四国	2,523	43	174	1	450	5	141	221	235	29	34	30	230	1,593	4,116	7,302	56.4%	3,186
九州	2,877	529	489	1	215	0	1	405	0	149	308	211	0	2,308	5,185	8,279	62.6%	3,094
合計	18,229	1,267	1,472	371	1,813	376	416	1,695	389	678	621	856	232	10,186	28,415	59,443	47.8%	31,028
※非会員及び 再入会申請中	1,420	118	133	25	182	44	39	138	25	65	44	100	16	929	2,349			
総数	19,649	1,385	1,605	396	1,995	420	455	1,833	414	743	665	956	248	11,115	30,764			

2016年12月8日現在の静岡県会員の受講者数は547名、未受講者数1,098名
受講率33.3%と全国平均を大きく下回っています。早期の受講をお願い致します。

お風呂を楽しむ

アロマ好き男子

みなさんはお風呂派ですか？シャワー派ですか？

私はお風呂派です。温かいお湯につかると疲れがふ〜っと取れぬけてゆきます。

休日には遠方まで足をのばして温泉を楽しみますが、普段は自宅のお風呂を工夫して楽しめます。

スーパーに行けば様々な入浴剤が手に入ります。岩塩が入ったもの、炭酸で泡が出るもの、温泉のもとなど様々ありますが、生の果物や植物のアロマ（精油）を入れるのもおもしろいですよ。

例えば、ライムやゆず、シークワーサーや花梨。ライムは入浴後、体がホカホカになり、ゆずは冬至にゆず湯にする
と風邪をひかないといえますよね。シークワーサーはビタ



ミンCが多く、日焼けしたお肌によいのだとか。花梨は香がとても良いです。

アロマはハーブや花、樹木など様々な種類があります。

私は食べ過ぎた日には大匙1の塩にグレープフルーツのアロマやミントのアロマを数滴まぜて入浴剤を作ります。疲れた日にはラベンダーのアロマ

で入浴剤をつくって入浴するとその晩はぐっすり眠れます。家内が庭にハーブをたくさん植えているので生のハーブをお湯に浮かべるのもおもしろいです。

ぜひ、みなさんもお風呂につかって日々の疲れを癒してくださいね。



研修会終了報告

事業名	平成 28 年度日臨技中部圏支部 第 23 回臨床微生物検査部門研修会
開催日	平成 28 年 11 月 5 日 (土) ~11 月 6 日 (日)
会 場	ヤマハリゾートつま恋 コンベンションホール
参加人数	102 人
内 容	<p>今回は「感染症治療への貢献～微生物検査室のパラダイムシフト～」と題し、過去を振り返りながら、これからの微生物検査技師のなすべき役割について学ぼうという趣旨のもと開催されました。研修会では、6名の講師をお招きしました。1日目は、西尾技師より微生物検査外部委託から院内検査にシフトした『菊川市立総合病院における微生物検査の変遷』、大楠先生からは、日常よく遭遇する菌に対して多方面からアプローチした『筋？菌トレ』の講義、竹末先生の『臨床医が求める微生物検査』からは、臨床医が我々に何を求めているのかをお教えいただきました。</p> <p>2日目は、犬塚先生と西山先生より、微生物検査技師として長年業務に携わって培われた知識と経験について講義をいただき、基礎的な知識や技能について学ぶことができました。中村先生の『Amp-C を中心とした耐性菌』では、感染部位の薬物動態や耐性機序などをわかりやすく講義していただき大変参考になりました。また講師の先生がたに魅了され県内外から 100 名以上の参加者を頂き大盛況でした。</p>



事業名	平成 28 年度 第 2 回 臨床一般部門研修会
開催日	平成 28 年 11 月 12 日 (土)
会 場	静岡市産学交流センター プレゼンテーションルーム
参加人数	64 人
内 容	<p>この度はシーメンス社より宮澤俊郎先生、藤田保健衛生大学より星雅人先生をお招きして、臨床が一般検査に求めること、また、円柱を中心とした尿検査に関する最新情報について講演をお願いしました。</p> <p>普段、我々が臨床へ報告している検査結果について臨床医がどのように考えているか、また、最近の一般検査の話題などを知る良い機会となりました。中でも、微量アルブミンと硝子円柱に関しては、近年 CKD に代表されるような腎障害が注目されていることもあり、それぞれの臨床的意義の重要性を再認識させるものとなりました。</p> <p>今回の内容も翌日からでも使える知識ばかりでした。今後も職場で即戦力となりうる内容の研修会を提供できるように尽力して参ります。</p>



事業名	平成 28 年度 第 1 回染色体遺伝子部門研修会
開催日	平成 28 年 11 月 20 日 (日)
会 場	静岡赤十字病院 2 号館 4 階研修室
参加人数	56 人
内 容	<p>本研修会では、今年度から診療報酬制度にも反映されることになった ISO15189 を主眼においた講演を企画しました。</p> <p>前半の阿部先生、若井先生、佐藤先生には、どのように ISO を取得されたのか、そしてどのように ISO を維持されているのか、各病院でのご経験をお話いただきました。遺伝子・染色体検査室における ISO は、その検査を実施している施設そのものが少ないため、これから取得を目指す施設のみならず、既に取得した施設の方にも非常に参考になる内容であったと思います。</p> <p>後半の田澤先生、林先生、泉澤先生、松田先生、岡野先生には、各試薬メーカーにて発売されているコンパニオン診断薬を中心に解説いただきました。個別化医療という流れの中で、BCR-ABL、EGFR、RAS などのバイオマーカーやコンパニオン診断薬は、これからはますます増えていくと考えられます。今回の研修で、現状のコンパニオン診断薬を学び、これから登場するコンパニオン診断薬も含めた導入への足掛かりになることを期待しています。</p>

事業名	平成 28 年度 第 3 回生物化学分析部門研修会
開催日	平成 28 年 11 月 20 日 (日)
会 場	独立行政法人 静岡県立総合病院 6 階 つつじホール講堂
参加人数	45 人
内 容	<p><甲状腺疾患・間質性肺炎検査・純水装置の影響についてネットでは得られない知識を習得する。>をテーマに講演を 3 部開催しました。</p> <p>講演 1 「甲状腺疾患検査と最近の話題」 講演 2 「間質性肺炎と臨床検査-KL-6 を中心に」 講演 3 「自動分析装置に供給する純水の基礎と検査への影響」</p> <p>依頼項目が飛躍的に倍増している話題の甲状腺疾患・間質性肺炎検査において、メーカーの視点、ユーザーからの問い合わせの多い観点に着目して講演して頂きました。また、昔から純水装置には労力を必要とする定期的メンテナンスを伴い女性の多い職場環境において今までに無い原理の装置の解説を通して改善が期待されました。新人技師からベテラン技師まで納得出来る内容を網羅し日常業務だけでなく緊急検査業務でも役立ち、院内に向けて発信するアピールポイントの機会にもなりました。</p> 

臨床検査関連研修会・講習会 (1)

平成 28 年 12 月 15 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。
各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。

平成 29 年 (1) (敬称略)

<p>平成 29 年 1 月 21 日 (土) 12 : 45 ~ 18 : 30</p> <p>1 月 22 日 (日) 9 : 00 ~ 12 : 45</p> <p>静岡県男女共同 参画センターあざれあ 大会議室 第 1 研修室</p> <p>会員 8,000 円 非会員 9,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 30 回日臨技中部圏支部 生理検査研修会 ＜テーマ＞ 考える検査技師になろう！ —臨床に確かな情報を届けるためのひと工夫—</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時における検査技師の役割 静岡市立静岡病院 副病院長 千原幸司先生 2. 皮膚灌流圧測定のポイント 藤田保健衛生大学病院 新谷知世先生 3. 呼吸機能検査が好きになる！ 検査のすすめ方、考え方 公立陶生病院 大竹悦子先生 4. 眼底検査でわかること、わからないこと JCHO 桜ヶ丘病院 眼科医長 池田享市先生 5. 頭部画像診断の押さえどころ ～CT・MRI 画像を中心に～ 静岡済生会総合病院 放射線技術科 山崎敬之先生 6-1. みて、きいて、次の一手を「考える」 小児腹部超音波検査 静岡県立こども病院 藤下真澄先生 6-2. 考える脳波賦活 北里大学病院 小野澤裕也先生 7-1. 心エコーの思考回路 ただ見るのではなく、診にいきましょう！ 金沢大学附属病院 宮嶋良康先生 7-2. 神経伝導検査でこんな時、こうしています 帝京大学医学部附属病院 星野哲先生 8. 臨床で活かせる移乗介助の基礎と セルフコンディショニング 静岡県立総合病院 リハビリテーション科 澁谷貴司先生 <p>※ 内容の詳細については静岡臨技 HP をご覧ください！</p> <p>【申込要領】 事前申し込みが必要です。 期間を過ぎておりますが、事務局にお問合せ ください。</p>	<p>No. (160021426) 専門—30 点</p> <p>【問い合わせ先】 聖隷沼津病院 検査課 井原 綾那 TEL 055-952-1023 (内線 5515) 13 時以降</p>
---	--	--

臨床検査関連研修会・講習会 (2)

<p>平成 29 年 1 月 28 日 (土) 13 : 00 ~ 17 : 00</p> <p>JR 静岡駅ビル PARCHE(パルシェ) 7 階 第 2・3 会議室</p> <p>会 員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 3 回 臨床一般部門研修会</p> <p><テーマ> 鑑別できますか？正常細胞と異型細胞</p> <p>『知りたい』に応える尿沈渣実践テクニック</p> <p>12 : 30 ~ 受付開始</p> <p>13 : 00 ~ 14 : 30 上皮細胞、その他細胞について</p> <p>14 : 30 ~ 14 : 40 休憩</p> <p>14 : 40 ~ 15 : 40 異型細胞について</p> <p>15 : 40 ~ 15 : 50 休憩</p> <p>15 : 50 ~ 16 : 50 スライドカンファレンス</p> <p>16 : 50 ~ 17 : 00 質疑応答</p> <p>講師 東海大学医学部付属病院 臨床検査技術科 科長補佐 野崎 司先生</p> <p>今回は異型細胞の鑑別ができる検査技師を目標として、東海大学医学部付属病院 臨床検査技術科の野崎司先生に御講演していただきます。</p> <p>初めの講義は正常細胞、次に異型細胞、最後は大変好評をいただいているスライドカンファレンスにて習得した知識の確認をしていただきます。</p> <p>異型細胞は通常ルーチン検査や当直帯における検査、外部精度管理調査においても重要度の高い沈渣成分です。普段、疑問に思っている事や今更聞けないと思っっている事等をこの講義にて払拭できればと思います。</p> <p>事前申し込み不要。 当日、直接会場にお越しください</p>	<p>No. (160022551) 専門-20 点</p> <p style="text-align: center;">【問い合わせ先】</p> <p>株式会社 LSI メディエンス 浜松日赤病院 メディエンス検査室</p> <p style="text-align: center;">山村 一志</p> <p style="text-align: center;">TEL 053-584-1232</p>
--	--	--

臨床検査関連研修会・講習会 (3)

<p>平成 29 年 2 月 10 日 (金)</p> <p>18 : 30 ~ 20 : 45</p> <p>三島商工会議所 4 階会議室 B</p> <p>静岡県三島市 一番町 2-29</p> <p>Tel 055-975-4441</p> <p>会員 500 円 賛助会員 500 円 非会員 1,000 円</p> <p>※賛助会員の方など 興味のある方は誰 でも参加可能です。</p>	<p>静岡県標準化事業 第 15 回東部地区意見交換会</p> <p><テーマ> 若手技師・経験年数の浅い技師の方の研修と臨床検査 に関する意見交換を通して検査室のレベルアップを図る</p> <p><講演></p> <p>1. 「ALT 極低値についての検討」</p> <p>医療法人社団一就会 長岡リハビリテーション病院 佐藤 芳子先生</p> <p>2. 「輸血認定医師がみる臨床検査」</p> <p>順天堂大学医学部附属静岡病院 血液内科准教授 岩尾 憲明先生</p> <p>今年度 2 回目の意見交換会となります。</p> <p>講演 1 では ALT の値について、講演 2 では日当直帯な どで多くの業務を兼任している方も多いため、血液内 科・輸血から臨床検査を考えたく企画しました。</p> <p>東部に限らず県内全体を対象にしていますので多くの 方の参加と活発なご意見を宜しくお願ひします。</p> <p>※ 20 : 45 終了予定ですので各自で空腹対策をお願 ひします。</p>	<p>No. (160030639) 専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>順天堂大学 医学部附属静岡病院 検査室 児玉由美子</p> <p>TEL 055-948-3111 (内線 1402)</p> <p>Email: Junten.s.kensa @herb.ocn.ne.jp</p>
---	---	---

臨床検査関連研修会・講習会 (4)

<p>平成 29 年 2 月 11 日 (土)</p> <p>12 : 00 ~ 17 : 10</p> <p>静岡赤十字病院 2 号館 4 階 第 1・2 会議室</p> <p>会員 1,000 円 賛助会員 1,000 円 非会員 2,000 円</p> <p>* 終了後懇親会を予定 会場は静岡駅近郊、 参加費は 6000 円以内 で設定致します。</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 第 3 回 病理細胞部門研修会</p> <p><テーマ> 薄切の知識と技術と管理を学ぼう！ ～技の伝承・継承に必要な要素とは～</p> <p>病理技術の中でも特に習得に時間を費やす薄切の技術・技能を後進に伝えることも受け継ぐことも簡単ではなく、経験と勘に頼る部分が多いと感じる事はありませんか？</p> <p>薄切技術について様々な観点から見つめなおし、技術・技能の上達や後進の指導、管理能力の向上に繋げるために全国的に活躍されている 3 名の認定病理検査技師を講師としてお招き致しました。</p> <p>テーマは薄切ですが、研修内容は厚く充実したものとなっております！</p> <p>多くの方々のご参加をお待ちしております！</p> <p style="text-align: center;">【研修会スケジュール】</p> <p>12 : 00 受付開始 12 : 55 開会 13 : 00 ~ 14 : 00 第 1 講演 【薄切技術の指導者が備えるべき知識と情報について ～技を伝えるために必要なことは何か～】(仮題) 講師 筑波大学附属病院 病理部 古屋周一郎先生 14 : 00 ~ 14 : 10 質疑応答 14 : 10 ~ 14 : 20 休憩 14 : 20 ~ 15 : 20 第 2 講演 【薄切業務のインシデント対策とマネージメント、 技術指導について】 講師 小田原市立病院 病理診断・臨床検査科 磯崎勝先生 15 : 20 ~ 15 : 30 質疑応答 15 : 30 ~ 15 : 40 休憩 15 : 40 ~ 17 : 00 第 3 講演 【薄切困難な FFPE および迅速凍結標本のための 応用技術について】 講師 市立砺波総合病院 臨床検査科 田所猛先生 17 : 00 ~ 17 : 10 質疑応答 17 : 10 閉会</p> <p>事前申し込みは不要です。 研修会当日、直接会場にお越し下さい。</p> <p>* 研修会終了後、懇親会を予定しております。 右欄をご確認下さい。</p>	<p>No. (160028669) 専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>静岡県静岡市 葵区追手町 8-2</p> <p>静岡赤十字病院 病理診断科 山田清隆</p> <p>TEL 054-254-4311 FAX 054-252-8816 Email: shizuringibyouri @yahoo.co.jp</p> <p>* 終了後懇親会は事前 申し込みが必要です。</p> <p>会場は静岡駅近郊、参加 費は 6000 円以内で設定致 します。 参加者人数把握のため 平成 29 年 1 月 10 日までに 下記連絡先に電話かメール でお申込み下さい。</p> <p>懇親会申し込み先： 磐田市立総合病院 栗田昭 TEL : 0538-38-5000 Email : a-ku570@uv.tnc.ne.jp</p>
---	--	---

臨床検査関連研修会・講習会 (5)

<p>平成 29 年 2 月 18 (土)</p> <p>9 : 00～20 : 00</p> <p>静岡県男女共同 参画センター あざれあ</p> <p>参加費 5,000 円</p>	<p style="text-align: center;">平成 28 年度 スタートアップ研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静臨技の新入会員～5 年目を対象として研修を行なう。仕事や仕事以外の場面においても、わかりやすく話したり説明ができるようになるための考え方や技術の基本的なことを学ぶ。 ・ グループ学習を通じて業務の問題点の抽出作業を経験してもらおう。様々な施設の人達との交流を通して、新たな気付きや学びを得ることを目的とする。 ・ 日臨技活動の広報として、日臨技の概要、事業紹介、HP の活用などの説明を行なう。 <ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーション(提案)の考え方や基本的な技術を身につけよう！ ～伝えたいことがあるとき、 今までよりわかりやすく話たり、 説明ができるようになる～ 2. 日常業務の疑問点・問題点を共有し 解決策を考えてみよう！ ～グループ学習を通じ、 日常業務の疑問点・問題点を抽出し ディスカッション・発表する～ 3. 技師会について知っておこう (ランチョンセミナー) 4. コミュニケーションを図ろう！ ～研修を通して、様々な施設との 技師間交流を図る～ <p>※ 事前申し込みが必要となります。 詳細は「スタートアップ研修会」開催案内をご覧ください。</p>	<p>No. (160030213) 基礎-20 点</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>静臨技 組織部 杉澤 きよ美</p> <p>沼津市立病院 臨床検査科</p> <p>TEL 055-924-5100</p>
---	--	---

臨床検査関連研修会・講習会 (6)

<p>平成 29 年 2 月 19 日 (日)</p> <p>10 : 00 ~ 17 : 00 (受付 9 : 30 ~)</p> <p>グランシップ 10F 会議室 1001</p> <p>会員 6,000 円 賛助会員 6,000 円 非会員 10,000 円</p>	<p style="text-align: center;">第 17 回 静岡血液フォーラム</p> <p><テーマ> 症例から臨床に役立つ知識を学ぼう！</p> <p>第 1 講演 『 症例から学ぶ検査血液学 』 愛知医科大学 血液内科 教授 高見 昭良 医師</p> <p>第 2 講演 『 症例から学ぶ フローサイトメトリーの読み方 』 沖縄赤十字病院 医療技術部 臨床検査課 大川 有希 技師</p> <p>第 3 講演 ランチョンセミナー (積水メディカル(株))</p> <p>第 4 講演 『 骨髄の実践的見方 』 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部 井本 清美 技師</p> <p>第 5 講演 『 造血器腫瘍における 細胞遺伝学的検査の基礎と臨床的意義 』 株式会社 ビー・エム・エル総合研究所 園山 政行 技師</p> <p>事前申し込み制 定員 先着 150 名</p> <p>申込期間は終了していますので、右記担当者まで お問い合わせください。</p>	<p>No. (160020717) 専門-20 点</p> <p>【問い合わせ先】 フォーラム問い合わせ先 JOHO 三島総合病院 臨床検査部 大橋 勝春 TEL 055-975-5545</p> <p>申し込み問い合わせ先 沼津市立病院 臨床検査科 勝又 ちとみ TEL 055-924-5100</p>
---	---	---

**研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい。
台風など天災の影響により開催が危ぶまれる場合は、必ずホームページでご確認下さ**

中部圏支部 研修会・講習会 日程一覧

※ 詳細については、日臨技 HP、静臨技 HP をご覧ください。

部 門	担当県	開催日時	場 所
臨床一般	富山	平成 29 年 1 月 7 日 (土) ~ 8 日 (日)	1 日目 佐伯記念ホール 2 日目 富山大学医学部 杉谷キャンパス
臨床生理	静岡	平成 29 年 1 月 21 日 (土) ~ 22 日 (日)	静岡県男女共同参画センター あざれあ
臨床血液	三重	平成 29 年 1 月 21 日 (土) ~ 22 日 (日)	じばさん三重 (四日市市)
染色体・遺伝子	愛知	平成 29 年 2 月 12 日 (日)	ウイंक愛知
病理・細胞	三重	平成 29 年 2 月 25 日 (土) ~ 26 日 (日)	鈴鹿医療科学大学 JART100 年記念ホール

平成 29 年 1 月・2 月・3 月の行事予定

1 月

- 7 日 (土) ~ 8 日 (日)
平成 28 年度 中部圏支部一般検査研修会 : 1 日目 佐伯記念ホール
: 2 日目 富山大学医学部杉谷キャンパス
- 17 日 (火) 静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会 : 静岡県医師会館
- 21 日 (土) ~ 22 日 (日)
平成 28 年度 中部圏支部生理検査研修会 : あざれあ
平成 28 年度 中部圏支部血液検査研修会 : じばさん三重
- 27 日 (金) 平成 29 年 新春賀詞交換会 : TKP ガーデンシティ品川
- 28 日 (土) 全国幹事連絡会議 : 日本臨技検査技師会館
平成 28 年度 第 3 回 臨床一般部門研修会 : PARCHE (パルシェ)
- 31 日 (火) 静臨技 理事会 : 静臨技事務所

2 月

- 10 日 (金) 静岡県標準化事業 第 15 回 東部地区意見交換会 : 三島商工会議所
- 11 日 (土) 平成 28 年度 第 3 回 病理細胞部門研修会 : 静岡赤十字病院
- 12 日 (日) 平成 28 年度 中部圏支部遺伝子検査研修会 : ウイंक愛知
- 18 日 (土) スタートアップ研修会 : あざれあ
- 19 日 (日) 第 17 回 静岡血液フォーラム : グランシップ
- 25 日 (土) ~ 26 日 (日)
平成 28 年度 中部圏支部病理検査研修会 : 鈴鹿医療科学大学

3 月 ※ 今のところ行事情報なし